

実用書式・ペン習字 選択の人へ 第2回目

美しい文字を書くために、そして正しい書式を知るためにこの講座はあります。
ですから、この課題に取り組む間だけ

○丁寧に書く

○納得がいかない文字は消して書き直す

は、心がけてください。

今回の課題は『ペン習字の基礎』石川芳雲著 P47 です。

『ひらがな』の『て』～『や』。

次のページに美しく見えるポイントをはりつけておきます。

よく読んで、取り組んでくださいね。用具は、鉛筆かシャープペンシルです。何度も書き直して、納得いく文字を書いてくださいね。

手本すぐ下(2段目)はなぞり書きをするところです。はみ出したら書き直してください。はみ出した時、「なんだか自分の文字の形と違う」と違和感を感じる時、その気づきを大切にしましょう。それがうまくなる瞬間ですから。まずは目から上達します。そのうち、手がついていきます。慣れていくという感じです。

ていねいに取り組んでもらいたいので、今回も課題はほんの1ページです。

それ以上は、書きたくてもまだ書きすすめないでね。

ね	ぬ	に	な	と	て
ね	ぬ	に	な	と	て
ね	ぬ	に	な	と	て
ほ	へ	ふ	ひ	は	の
ほ	へ	ふ	ひ	は	の
や	も	め	む	み	ま
や	も	め	む	み	ま

「ね・ぬ・わ」は縦画より少し上におわる

広く

対角線とにあるように

一画めより最終画は上におわる

縦は短

全体が小さい字

横は短く注意

沖・め・は・い・み・な

間を広く

め・点・は・高・く

「ま・ほ」のように横画が二本ある時は広く

上をなぞる時にははみ出さないこと。自分のいつもの字と違うと、感じの時に上をくはる時をすし。